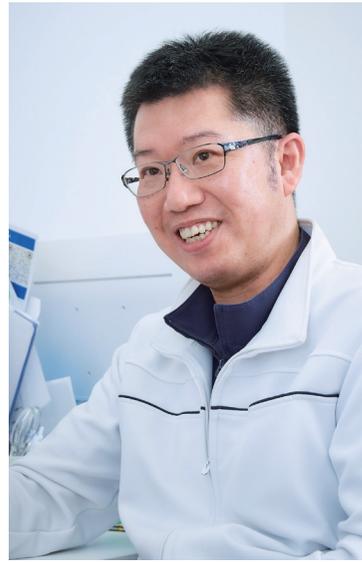


# 執刀医としてトレーニングを重ね、手術を入念に計画



医療法人 さつぽろ脊椎外科クリニック

札幌市北区北13条西2丁目2-1

011-726-1154 <https://sapporo-spine.com/>

## 濱田 一範 副院長

性を目指しています」と話す。

首と腰を専門とし、日本脊椎病学会認定指導医として診療にあたっている。腰部脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアなどさまざまな脊椎疾患に対応し、山田恵二郎院長、神田翔太郎医師とともに執刀医3人体制を敷く。2023年は518例（椎間板ヘルニアに対する酵素注入療法「ヘルニコア」を含む）の手術を行った。

先端の理学療法機器（左）とリハビリ室（右）



手術室を2室完備



はまだ・かずのり／1999年札幌医科大学卒業。札幌中央病院診療部長を経て、2015年から現職。日本整形外科学会認定整形外科専門医。医学博士。



外来診療は完全予約制

「神の手」などと称賛される天才肌で才能あふれるスーパードクターは、日本にも少なからず存在するが、濱田一範副院長は「私は天才ではありません。だからこそ努力に努力を重ねてきました。手術は「感覚」ではなく「計画」で遂行していきます。さまざまなシミュレーションを入念に重ね、ムラなく手技を発揮できる正確性と再現

性を追求しています」と話す。首と腰を専門とし、日本脊椎病学会認定指導医として診療にあたっている。腰部脊柱管狭窄症や椎間板ヘルニアなどさまざまな脊椎疾患に対応し、山田恵二郎院長、神田翔太郎医師とともに執刀医3人体制を敷く。2023年は518例（椎間板ヘルニアに対する酵素注入療法「ヘルニコア」を含む）の手術を行った。

こうしたチーム力の高さもさることながら、術者が限られる低侵襲手術「OLIF」と「X-LIF」を手がけていることも患者から選ばれる要因だ。背中から大きく切開する従来の手術に対し、体の側方から患部にアクセス。ごくわずかな切開で、神経の除圧や椎間固定、脊椎配列矯正などを施せる。「背筋の侵襲も抑えられ、手

術翌日にはリハビリを開始でき、2〜3週間で退院となります。人生100年時代ですから、残りの人生を有意義に過ごしたいという高齢の方の手術も増えています」一方、経済的負担を危惧し、手術を敬遠する患者も多い。濱田副院長は「手術は保険適用で、高額療養費制度の利用も可能です。気軽にお問い合わせください」と呼びかける。